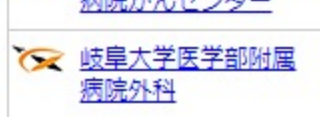


ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 病棟忘年会を行いました

病棟忘年会を行いました

投稿日：2012年12月27日(木)

平成24年12月27日(木) 外科病棟の忘年会を行いました

1次会：岐阜会館 2次会：COA

開会のご挨拶



高橋医局長より開会のご挨拶



病棟病棟長さんより「1年を振り返って」

忘年会の様子



病棟看護師さん、薬剤師さん大勢参加してくれました！



日頃の疲れを忘れて、たくさん飲みました！



★恒例の★ 芸大会♪♪



新人看護師さんによる可愛いダンスに皆が釘づけでした☆



ダンス、完璧でした(*^_^*)



お色気もあり!!!?



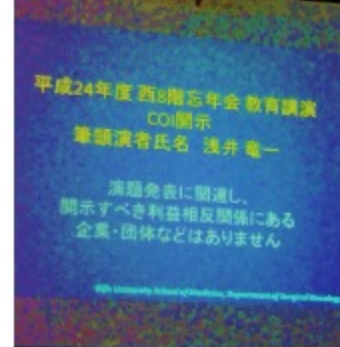
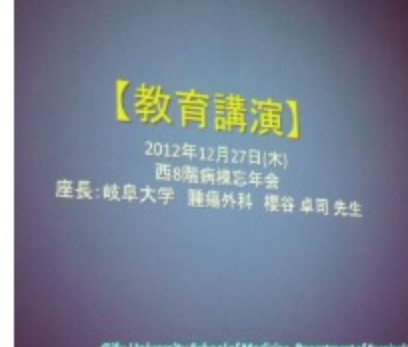
ダンス、完璧でした(*^_^*)



お色気もあり!!!?



☆☆芸大会☆☆ ♪♪第2部♪♪
先生たちも体を張って頑張りました！
興味深い症例報告もあったようです(笑)



浅井先生から、加納先生へ
先輩としての「愛情」を感じましたね！



浅井先生と加納先生

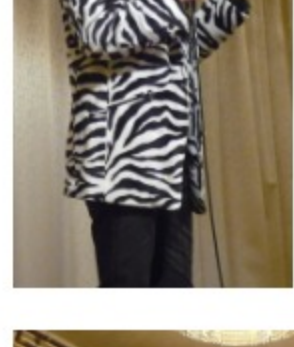
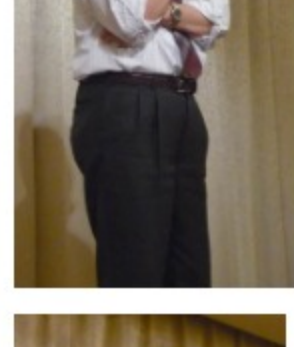
各チーフからのご挨拶

食道・胃・大腸・肝胆膵・乳腺チームのチーフ・スタッフから、今年の反省と来年の目標についてお話しいただきました。

各先生がたが、とても熱く話っていたのが印象的でした。ちょっと話がながいぞー(特にT先生とT先生!!)

でも、そのお気持ちは分かります。(^^;)

各部署のスタッフへ労いのお言葉もたくさんいただきました。



1月から異動する先生へ花束が贈られました

若い二人の先生、本当にお疲れ様でした。新しい職場でのご活躍を期待しています!!



浅井先生
→岐阜北厚生病院へ



加納先生
→岐阜市民病院へ

* * * * *



司会の榎橋先生



年忘れのひと時.....☆



皆さんの頑張りに感謝します！



来年もよろしくお願ひします!!!

▼ **ご案内**

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**

2022年
2021年
2020年
2019年
2018年
2017年
2016年
2015年
2014年
2013年
2012年
2011年
2010年
2009年
2008年
2007年

- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

トップページ > 教室日記 > 第2回 Translational Research Conferenceを開催しました

第2回 Translational Research Conferenceを開催しました

投稿日：2012年12月10日（月）

— Basic researchからClinical practiceへの応用にむけて —

日時 2012年12月10日（月）18:50～21:00
 場所 岐阜大学医学部 1階「大会議室」

総司会
 岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学分野
 教授 吉田 和弘 先生



指定演題（19:00～19:30）

1. 「5FUとオキサリプラチンの胃癌細胞に対する相乗効果におけるFANCIの役割」

岐阜県総合医療センター 乳腺外科
 森 龍太郎 先生



森 龍太郎 先生

2. 「ヒト胃癌周囲リンパ管増殖への骨髄由来リンパ内皮前駆細胞の関与についての検討」

岐阜県総合医療センター 外科
 太和田昌宏 先生



太和田昌宏 先生

特別講演（19:30～20:30）

『分子標的治療薬のバイオマーカー研究』
 近畿大学医学部 ゲノム生物学教室
 教授 西尾 和人 先生



分子標的治療分野のトピックスについて多岐にわたりご講演いただき、西尾先生の深い造詣に触れることができました。

講演後の質疑応答の場面では医局員一同大変熱が入り、西尾先生への質問を多数受け付けていただきました。ありがとうございました。



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 平成24年度 岐阜大学第二外科 同門会・忘年会

平成24年度 岐阜大学第二外科 同門会・忘年会

投稿日：2012年12月 1日 (土)

期日：平成24年12月1日 (土) 午後4時～
場所：岐阜グランドホテル

同門会 プログラム

1) 同門会報告

- 平成24年度異動報告・平成24年12月における勤務医一覧・新入局員
- 同門会会計報告・互助会会計報告
- 同門会理事交代・監事交代・同門会誌「辛夷」編集委員長交代
- 「辛夷」第29号吉田教授就任5周年記念集発刊

2) 還暦祝の贈呈



浅野雅嘉 先生のご挨拶

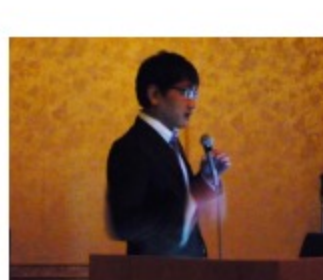
- 操 尚 先生
- 浅野雅嘉 先生
- 梶間敏彦 先生
- (昭和27年12月4日～昭和28年12月1日)

3) 帰朝報告

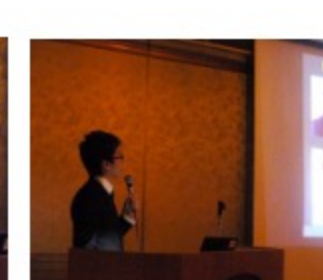
- ①延世大学(韓国) 海外留学を終えて 奥村直樹 先生
- ②岩手医科大学外科 国内留学を終えて 今井 寿 先生
- ③京都大学乳腺外科 国内留学を終えて 森龍太郎 先生



奥村先生からはda Vinci手術の研修に励まれたことなど、韓国の美味しい料理のお話も交えてご紹介いただきました。



今井先生からは東北震災のご経験と、肝胆膵領域の腹腔鏡手術についてご紹介いただきました。



森先生からは乳腺外来で最新のEBMに触れた研修について、また京都での生活についてお話しいただきました。

4) 学位審査報告

名和 正人 先生
「Growth Effect of Neutrophil Elastase on Breast Cancer: Favorable Action of Sivelestat and Application to Anti-HER2 Therapy」



HER2陽性乳癌に対する新しい治療薬としてのSivelestatの可能性について研究成果をご発表されました。

5) 留学を終えて

Dr. Feng Li min

Department of Oncological Surgery, The affiliated Yantai Yuhuangding Hospital of Qingdao University Medical College



Dr.Fengは中国から平成24年9月～12月の間、大学病院に留学中です。ご自身の病院の様子など紹介していただきました。



後日Professorより留学修了書が授与されました。

6) 関連施設から現況と今後

- ①下呂市立金山病院 須原貴志 先生
- ②高山赤十字病院 白子隆志 先生
- ③多治見市民病院 加藤浩樹 先生



須原先生より新築された金山病院の様子と、新しい痔核手術術式の取り組みをご紹介いただきました。



白子先生からは高山日赤病院外科の近況と、国際医療救済の活動についてご紹介いただきました。



加藤先生より新築された多治見市民病院の様子をご紹介いただきました。

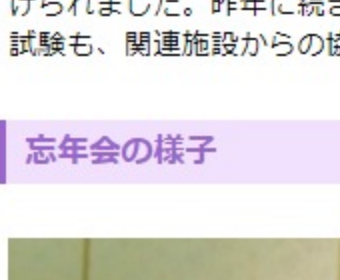
7) 大学・関連施設の現況と今後

岐阜大学病院 吉田和弘 教授

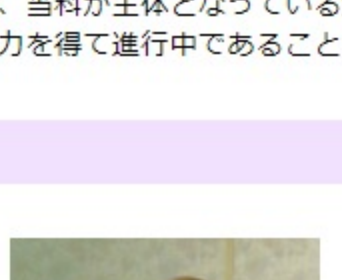


「今年できたこと、できなかったこと」平成24年5月連台病院での教授称号授与、11月に上海でのご講演の様子や9月にオーストリアで開催されたESMO(欧州臨床腫瘍学会)でのご発表などご自身のご活躍についてお話しいただきました。また大学病院の医局からは、日本癌治療学会、臨床外科学会をはじめ、学会への多数の演題発表がされたことを、今年できたこととして挙げられました。昨年に続き、当科が主体となっている消化器癌領域・乳癌領域の臨床試験も、関連施設からの協力を得て進行中であることも報告されました。

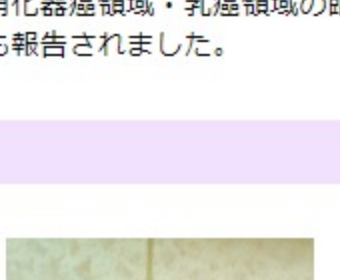
忘年会の様子



同門会会長の田中千凱先生のご挨拶



佐治重豊名誉教授よりご挨拶



同門会・忘年会の司会をされた高橋医局長、新入局員と一緒に



平成24年度に新しく入局した先生たち(現勤務先)



加納先生 (岐阜大学病院)



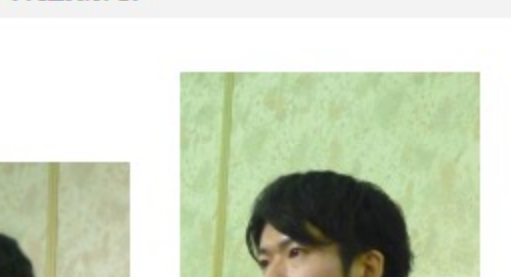
田尻下先生 (高山日赤病院)



田中先生 (岐阜県総合医療センター)



Professorと新入局員



岐阜市民病院で研修中の方と久野先生、指導医の加藤先生と一緒に。

▲ページの先頭へ戻る



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介

教室日記

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

2008年

2007年

▶ オプトアウト対象の臨床研究

▶ 寄付講座

▶ 同門会



同門会発行
辛夷

▶ **胃がんとは**
MOVIE

▶ **外来化学療法**
って何？

▶ **術後GISTの**
化学療法

▶ **ASCO2013**
~Late Breaking Abstracts~

▶ **ASCO2015**
~special session :
Global Oncology Symposium~

▶ **岐阜大学医学部**

▶ **岐阜大学医学部附属**
病院

▶ **岐阜大学医学部附属**
病院がんセンター

▶ **岐阜大学医学部附属**
病院外科

▼ 教室日記

トップページ > 教室日記 > 第74回 日本臨床外科学会総会に参加しました

第74回 日本臨床外科学会総会に参加しました

投稿日：2012年11月29日（木）

開催概要

平成24年11月29日（木）～12月1日（土） 東京 京王プラザホテル・新宿NSビル

発表者	演題名
吉田和弘	【司会】ビデオシンポジウム6 腹腔鏡下胃全摘術・噴門切除術とその再建術式.
二村 学	乳癌診療におけるPET/CTの臨床的意義について.
長田真二	膵消化管吻合の手術手技.
山口和也	根治切除不能胃癌に対する化学療法後手術の安全性の検証.
高橋孝夫	進行再発大腸癌に対する一次治療における分子標的薬の役割.
松橋延壽	当科における胃GISTに対して腹腔鏡手術症例の検討.
田中善宏	食道癌術後縫合不全に悩まずに済む再建方法.
佐々木義之	腫瘍縮小速度からみた 術前化学療法としてのFOLFOX+セツキシマブの有用性.
棚橋利行	当科で経験した腸間膜腫瘍の検討.
八幡和憲	出産後の腹部腫瘍にて発見された肝細胞癌の1例.
加藤順子	胆嚢穿孔が初発となった中部胆管癌の1例.
山田敦子	黄体ホルモン投与後に増大をきたしたと思われる 肝血管腫の一切除例.
兼松昌子	既存内分泌・化学療法耐性転移性乳癌に対して fulvestrantが有効であった1例.
福田賢也	術後麻酔覚醒中に発症したたこつぼ心筋症の一例.
田中香織	膵線維化による膵切除術後経過の予測に関する検討.
館 正仁	後腹膜脱分化型脂肪肉腫の1例.

▲ページの先頭へ戻る



ご案内

トップページ

教授挨拶

教室紹介

診療内容

外来担当表

セカンドオピニオン

研究課題

臨床試験

業績

研修・入局案内

関連病院紹介

スタッフ紹介

教室日記

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

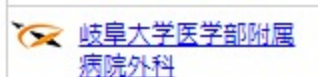
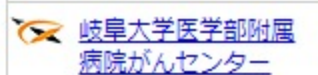
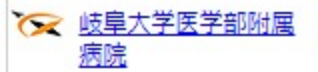
2008年

2007年

オプトアウト対象の臨床研究

寄付講座

同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 第23回 日本消化器癌発生学会にて優秀ポスター賞を受賞しました

第23回 日本消化器癌発生学会にて優秀ポスター賞を受賞しました

投稿日：2012年11月16日（金）

期日：2012年11月15日 - 11月16日
会場：ルネッサンスリゾートナルト(徳島県)
事務局：徳島大学大学院消化器・移植外科
会長：徳島大学大学院消化器・移植外科 島田光生 教授

受賞者 八幡 和憲 先生
「消化器癌に対するVandetanib と 5-FU の相乗効果とそのメカニズム解析」

受賞者 加藤 順子 先生
「大腸癌Kras 変異に対するRas をターゲットにした分子標的治療」



学会後は徳島の美味しいものをいただきました♪

▲ページの先頭へ戻る



ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ [教室日記](#)
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-
-
-
-

教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > [第50回 日本癌治療学会学術集会に参加しました](#)

第50回 日本癌治療学会学術集会に参加しました

投稿日：2012年10月25日（木）

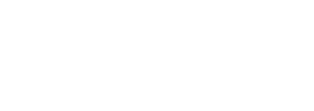
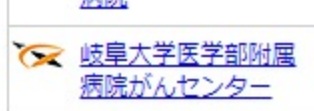
開催概要

平成24年10月25日（木）～27日（土） 横浜 パシフィコ横浜

発表者	発表演題
吉田和弘	【司会】 チームがん医療 －支持療法におけるCDTM－
	【特別企画】 Surgical treatment of gastric cancer in Japan
	進行・再発胃癌におけるHER2検査の実態.
二村 学	乳癌におけるGPNMB 発現と 血清GPNMB 測定の意義.
長田真二	大腸癌肝転移に対する治療方針 －基礎的・臨床的検討からの提言－.
山口和也	StageIV胃癌に対する手術症例の検討.
高橋孝夫	進行再発大腸癌に対し一次治療として mFOLFOX + 抗EGFR抗体薬の使用経験.
野中健一	2 c m以下の進行大腸癌の臨床病理学的検討.
奥村直樹	当科における肝転移を伴う StageIV胃癌に対する治療成績.
松橋延壽	当科における 腹腔鏡下胃切除術における長期予後の検討.
	当科における 大腸癌同時性肺転移切除例の検討.
今井 寿	高齢患者に対する脾頭十二指腸切除術の 安全性の検討.
佐々木義之	脾癌術後補助化学療法期間の検討.
森光華澄	超音波ボリュームデータを用いたVolume navigation (Vnav)による乳癌化学療法効果判定.
棚橋利行	腹腔内デスマイオイド腫瘍の1例.
八幡和憲	胃癌細胞に対するVandetanibと5-FUの 相乗効果による新規治療戦略.
加藤順子	大腸癌Kras変異に対する Rasをターゲットにした分子標的治療.
山田敦子	Triple Negative乳癌に対するVitamin K3による 新たなる分子標的治療.
田中香織	脾線維化の評価は 脾切除術後の経過を予測しうるか.

▲ページの先頭へ戻る

- ご案内
- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外來担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記
 - 2022年
 - 2021年
 - 2020年
 - 2019年
 - 2018年
 - 2017年
 - 2016年
 - 2015年
 - 2014年
 - 2013年
 - 2012年
 - 2011年
 - 2010年
 - 2009年
 - 2008年
 - 2007年
- オプトアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 要尾説明会を開催しました

医局説明会を開催しました

投稿日：2012年10月17日 (水)

岐阜大学腫瘍外科医局説明会

日時：平成24年10月17日 (水曜日)
場所：岐阜キャッスルイン10F てっぺん

プログラム

開会の辞 (高橋医局長)

吉田教授からご挨拶



浅野先生からご挨拶



外科入局後の進路・専門医取得までの流れ

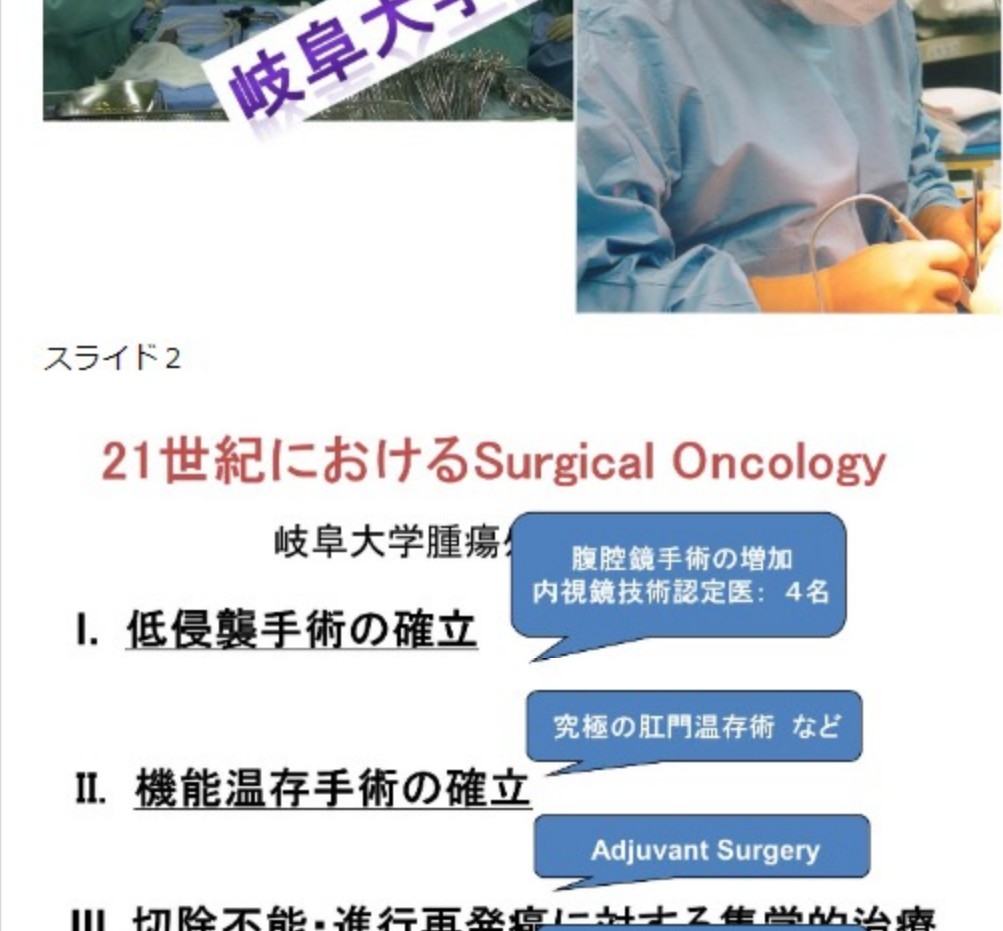


高橋医局長より説明

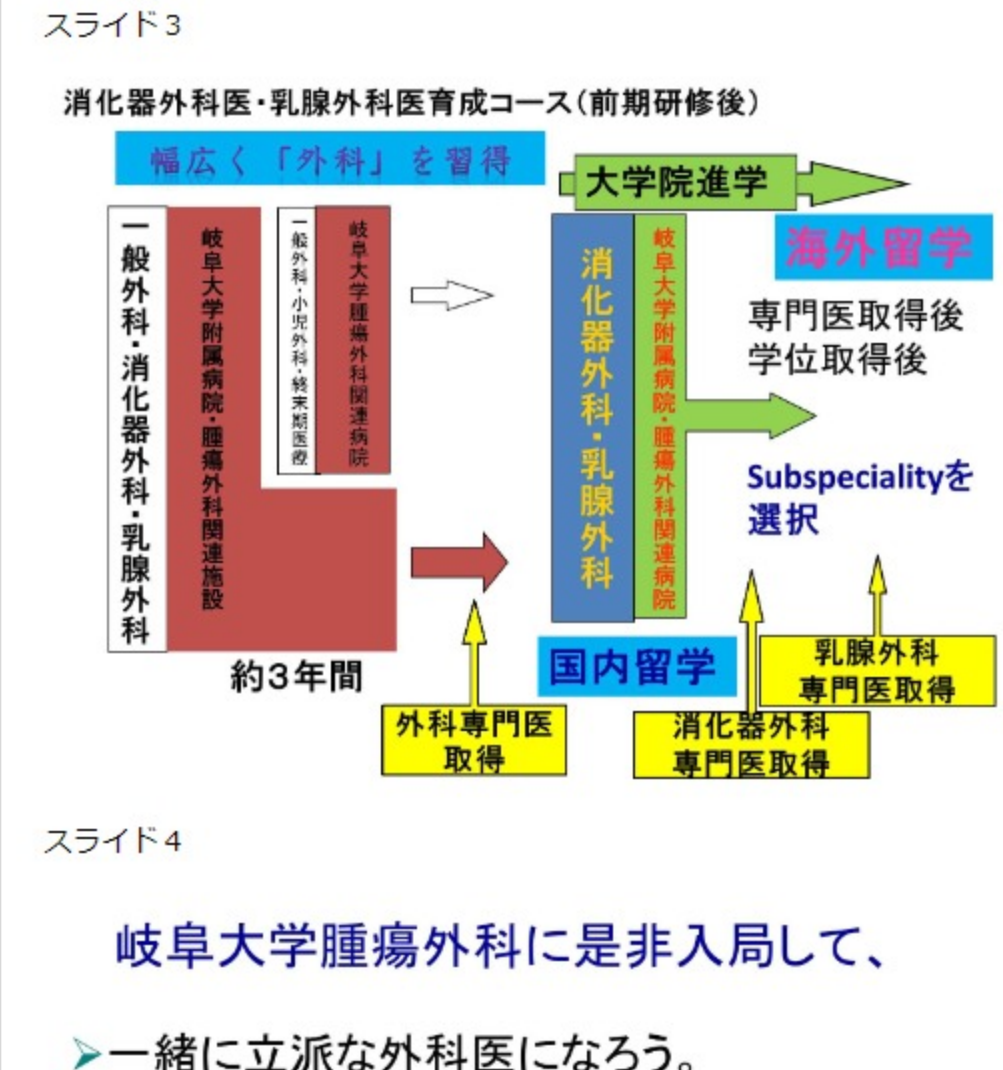


外科専門医取得のためのアドバイスもあり

スライド1



スライド2



スライド3

- 岐阜大学腫瘍外科に是非入局して、
- 一緒に立派な外科医になろう。
 - 一緒に癌の患者さんを救おう。
 - 一緒に岐阜県の医療を支えよう。
 - 一緒に岐阜大学腫瘍外科を日本一にしよう。

若手医局員が振り返る外科研修について



岐阜大学病院 医員
浅井 竜一 先生
(平成21年卒)

多くの社会環境、性格、趣味趣向
・診療科の制限なし
・岐阜で働きたい！
・やっぱり病気を治したい！
・急変時の対応を覚めて、全身管理をできるようにしたい！
・一人の患者を責任をもって見たい！
・癌でなくなんでも不思議、おもしろそう

研修医になってみたら...
・いわゆる内科医 「考える医者」
診断がメイン 時間がかかる
診断基準... 鑑別診断...
Problem10個以上...

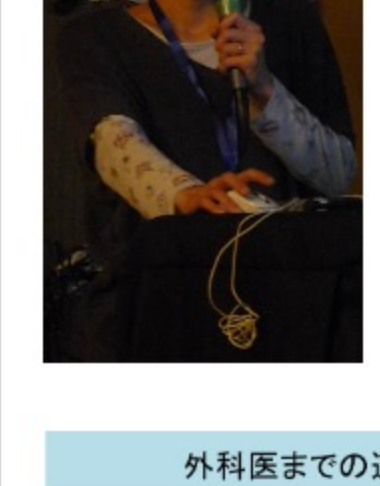


治療はガイドラインで決まっている
生活習慣病は一生治らない
cureは難しい→control
手術が必要なら診断して外科にパス
「命を救っていただきました。」と大変感謝される。

一方、外科系は?

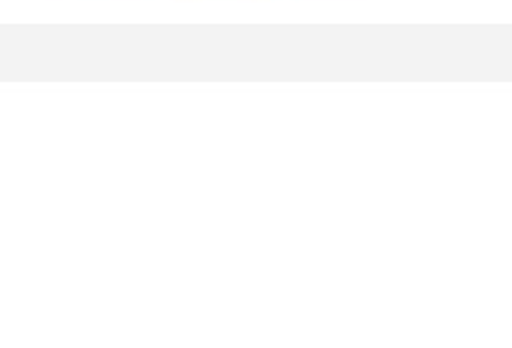
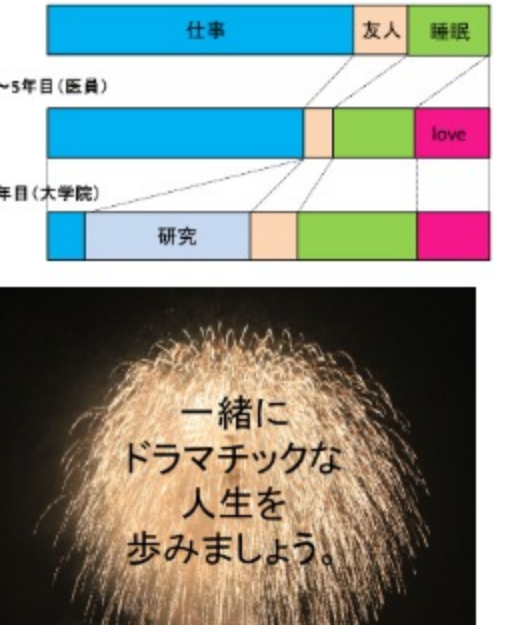
・外科系:
画像や生検で多くが診断がつく
診断はSimple!
手術=治療に全力を尽くす
自分の手で治すことができる
なんだかんで、手術は楽しい
外科医 → 「治す医者」

癌治療の魅力!
(内視鏡検査)→手術→(化学療法)→(緩和治療)
一人の患者を最初から最後までみる事ができる!
乳癌に関しては、
検診→診断→手術
(→化学療法・放射線療法)→緩和治療)
完全に自分で始まり、自分で終わる
「命を救っていただきました。」と大変感謝される。

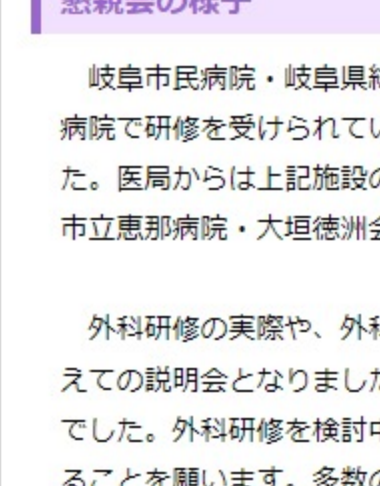


岐阜大学大学院 院生
田中 香織 先生
(平成18年卒)

ある外科医(女)の言葉。
『科』を選ぶのは、
結婚相手を選ぶより重要ですから。』
外科 専攻



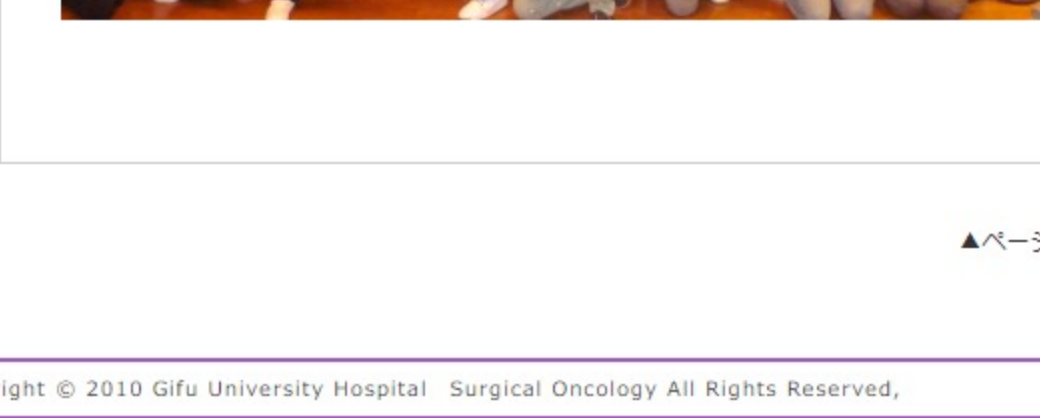
閉会の辞 (須原先生)



懇親会の様子

岐阜市民病院・岐阜県総合医療センター・中濃厚生病院・木沢記念病院・岐阜大学病院で研修を受けている多くの研修医の先生が、医局説明会へ参加してくれました。医局からは上記施設のほか、朝日大学付属病院・犬山中央病院・岐阜厚生病院・市立惠那病院・大垣徳洲会病院から多数の先生にご参加いただきました。

外科研修の実際や、外科専門医取得のコツなど、若手外科医からスライド発表を交えての説明会となりました。懇親会では各テーブルで話がはずみ、とても盛況な様子でした。外科研修を検討中の研修医の先生へ、このような会がよい契機となってくれることを願います。多数のご参加とご協力、本当にありがとうございました。





ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- ▶ 岐阜大学医学部
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 市民公開講座 「消化器がん治療の最前線」

市民公開講座 「消化器がん治療の最前線」

投稿日：2012年10月13日（土）

～みんなで学ぼう、胃がんと大腸がん～

市民公開講座が、岐阜新聞に取り上げられました。



市民公開講座

「消化管がん治療の最前線」
～みんなで学ぼう、胃がんと大腸がん～

基調講演
「がん対策推進基本計画の目指すもの」
岐阜大学医学部附属病院 腫瘍外科 がんセンター 部長
吉田 和弘 先生

講演

- ① 操 潤 先生
- ② 荒木 寛司 先生
- ③ 奥村 直樹 先生
- ④ 高橋 孝夫 先生
- ⑤ 長瀬 通隆 先生

パネルディスカッション
座長 吉田 和弘 先生
パネリスト 操 潤 先生、荒木 寛司 先生、奥村 直樹 先生、高橋 孝夫 先生、長瀬 通隆 先生（不参加）

事前申込制 入場無料

日時 2012年 **10月13日(土)**
13:00～16:00

会場 **じゅうろくプラザ**
(岐阜市文化産業交流センター)
〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町1-10-11 南 J 10階東側
TEL 058-262-0150

お申込み先 先着300名
（申込は9月10日（土）まで）
特定非営利活動法人がんサポートセンター
お名前、連絡先（電話 FAX メールアドレス）
消化器がんについての質問がある場合は記入いただいた内容
をご確認ください。

お申込み方法

メール
info@gan-support.net
ホームページ
http://gan-support.net/
FAX
050-1131-2586
往復はがき
〒500-8227
岐阜市北一色 1-19-11
シティイイヌマ 306

締切日 10月10日（必着）

日時：2012年10月13日(土) 13:00～16:00

会場：じゅうろくプラザ

主催：特定非営利活動法人がんサポートセンター

後援：岐阜大学医学部附属病院 がんセンター ・ 岐阜新聞

協賛：株式会社ヤクルト本社

▲ページの先頭へ戻る



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- ▶ [岐阜大学医学部](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

教室日記

トップページ > 教室日記 > 第5回 日本ハンガリー-外科学会レポート

第5回 日本ハンガリー-外科学会レポート

投稿日：2012年10月4日（木）

平成24年10月にハンガリー、ブダペストで開催された学会へ参加しました。
当医局から松橋先生のレポートをお伝えします。

開催概要

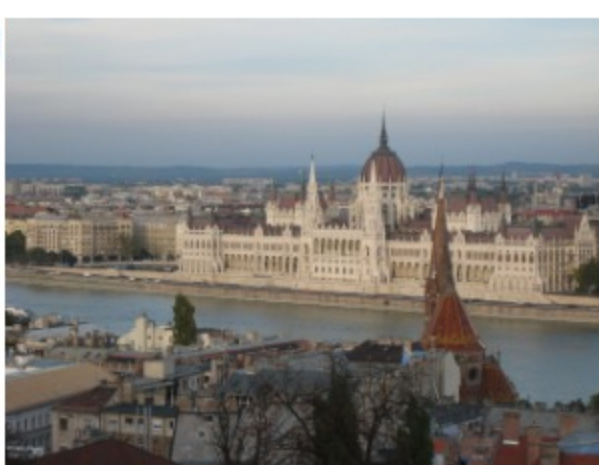
日程：2012年10月4日（木）～6日（土）

会場：Stefania Palota（ステファニア・パレス） 1143 Budapest, Stefania road 34.-36.

会長：Jozsef Sandor教授（Semmelweis大学） 北島政樹教授（国際医療福祉大学）

テーマ：Symposium commemorating Kiss, Regoly, Ogami, Otani. "Lessons of the Past direct us to the Future"

リンク：<http://jhss.umin.jp/>



第5回日本ハンガリー-外科学会に参加して

平成8年卒 松橋延壽

2012年10月4日から6日まで吉田和弘教授の御厚意で、the 5th Scientific Symposium of the Japanese-Hungarian Surgical Society : Budapestに参加する機会を得た。個人的には東欧諸国に大変興味があり、一度機会があれば行ってみたいと思っていたので英語で発表というハードル以外は大変楽しみであった。10月3日夜にブダペストに着いたが、ホテルはドナウ川を一望できる小高い丘の上にあり、夜景が大変きれいで非常に趣があった。しかし余韻に浸る暇もなく翌日の早朝からの学会参加のため発表の準備に時間を割くことになった。学会は慶応大学とハンガリー大学の交流から始まったもので、非常にアットホームな学会であった。早朝より日本から発表する先生方と一緒にバスで学会会場に移動することとなった。会場は宮殿のような建物で非常に雰囲気があった。開会式ではJozsef Sandor教授、北島政樹教授の挨拶が終わると、ハンガリー-外交官職員など政府重要要職関係者のスピーチもあり、名誉ある学会であることを再認識した。自分自身の発表は、昼からポスター発表であったが、座長の高知大学小林道也教授に親切に進行していただき、不慣れた英語においてもカバーしていただいたので無事に終えることができた。



ホテルからのドナウ川の展望



会場のステファニア・パレス



Jozsef Sandor 教授



北島政樹 教授



消化器外科セッション
高知大学 小林道也教授（座長）を囲み
記念撮影



発表演題[「 Short-term outcomes of laparoscopic intersphincteric resection for lower rectal cancer and comparison with open approach」]

同期の奥村直樹先生もESMOから継続して学会に参加しており、久しぶりに同期でゆっくり会話することができた。奥村先生は留学経験が多く英語が堪能であり、小生の通訳係もしてもらった。学会が終わると連日夜遅くまでハンガリーの先生方によって接待交流をしていただいた。1日目は芸術の宮殿での伝統文化演劇の後に、ビール園のような場所で会食があった。2日目はドナウ川の畔にあるハンガリー科学アカデミー本館でレセプションがあった。この時も慶応大学の若い先生や藤田保健衛生大学の杉岡篤教授と会食をさせていただき、いろいろな見識を広げることができた。3日目は朝から夜12時までハンガリーの北から南、東から西と（ヘレンド・ミニ工場、博物館、世界遺産バンノンハルマ修道院、エステルハージ宮殿など）走行距離600km以上を一日で網羅する観光をさせていただいた。しかし21時ごろ会食が終わりこれからホテルまで300kmと聞いたときは唖然とした（全行程バス移動）。短期間であったが多くの刺激を受けることができた。



1日目終了後慶応大学の若い先生たちと仲良く会食できました



ハンガリー科学アカデミー本館でレセプション



気分よく北島政樹先生を囲んで記念撮影

ハンガリーの先生達方は非常に英語に堪能で、まったく訛りのない英語で話すため、苦手な小生としては恥ずかしいぐらいであった。実は個人的にはハンガリーは医学が進んでいないのではないかと考えていた。しかし発表内容もほぼ日本の学会と遜色なく、腹腔鏡手術も同じように行っていることに驚愕してしまった。やはり自分が思っている以上に東欧も医学は進んでおり、自分が井の中の蛙であることに恥ずかしくなった。



Sandor教授と奥村直樹先生



Sandor教授と小生(松橋延壽)

今回このような機会を吉田和弘教授から頂き、大変感謝したい。

次回は2年後に行われるようであるが、今度は若い先生たちに同じような経験をしてもらえよう経験させてもらった人間として受け継いでいきたい。また今後は岐阜大学腫瘍外科から世界の学会で発信できるような仕事をして、若い先生と共に医局を盛り上げていきたいと思った。





◎ ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記

2022年
2021年
2020年
2019年
2018年
2017年
2016年
2015年
2014年
2013年
2012年
2011年
2010年
2009年
2008年
2007年

- ▶ オプアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > ESMO 2012 欧州臨床腫瘍学会レポート

ESMO 2012 欧州臨床腫瘍学会レポート

投稿日：2012年9月29日（土）



2012年9月28日～10月2日にオーストリアで開催されたESMO(European Society of Medical Oncology) 2012に参加しました。

吉田教授が進行胃癌に対するTS-1とドセタキセル併用療法のPhase III trial (START trial)の結果をご発表されました。また当医局から奥村先生レポートをお届けします。

吉田先生の発表が、学会ホームページで紹介されました。

ESMO 2012 Press Release: Studies show advances in gastrointestinal cancer treatments

Phase III data reported at ESMO 2012

David Ferry, Kazuhiro Yoshida

VIENNA, Austria, 29 September 2012 -- New trial data showing improvements in the treatment of esophageal and gastrointestinal cancers were released today at the ESMO 2012 Congress of the European Society for Medical Oncology in Vienna.

Phase III, randomized, double-blind, placebo-controlled trial of gefitinib versus placebo in esophageal cancer progressing after chemotherapy

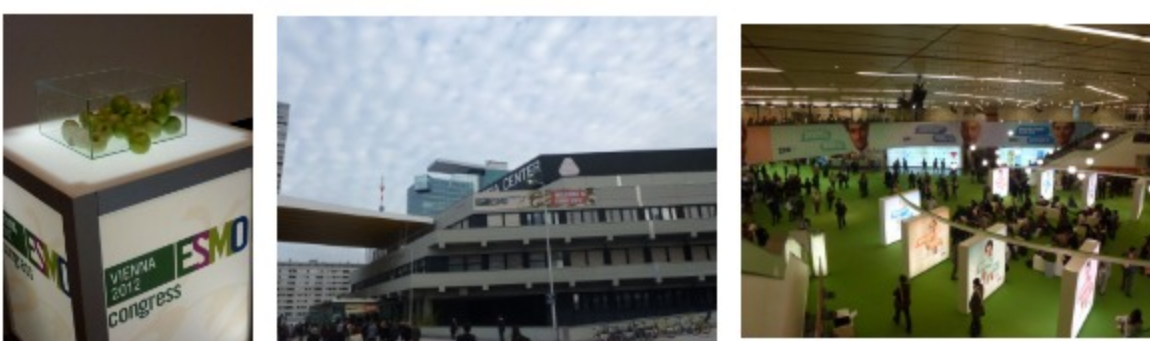
詳しくはこちらのリンクから↓↓↓

http://www.esmo.org/about-esmo/press-office/esmo-2012-press-releases/view.html?tx_ttnews%5Bpointer%5D=2&tx_ttnews%5Btt_news%5D=1618&tx_ttnews%5BbackPid%5D=2581&cHash=8602d4c4e9

ヨーロッパ臨床腫瘍学会および日本ハンガリー外科学科に参加して

平成8年卒 奥村直樹

このたび第37回ヨーロッパ臨床腫瘍学会(European Society of Medical Oncology;ESMO)と第5回日本ハンガリー外科学会 (Japan-Hungary Surgical Society;JHSS)に参加する機会を与您いただきました。9泊11日と長期の出張となりましたが非常に有意義な時間であったと思います。



初日の朝、学会場に向かう途中、地下鉄の階段で足を挫いてしまい残念ながらほとんど観光ができませんでしたが、その分会場でじっくり講演を聴く事ができました。ESMOはASCOには及びませんが、世界中のoncologistが集まり数多くの臨床試験が発表されます。今回の参加者は1万6千人で、欧米のみならずアジアからも多くの参加者が見られました。

吉田教授の発表は2日目の朝のLate breaking abstractで、START trialの最終解析の報告でした。流暢な英語での堂々たるpresentationで、翌日のESMO Congress Dailyには、「Winning Combination for Gastric Cancer」の見出しで取り上げられました。



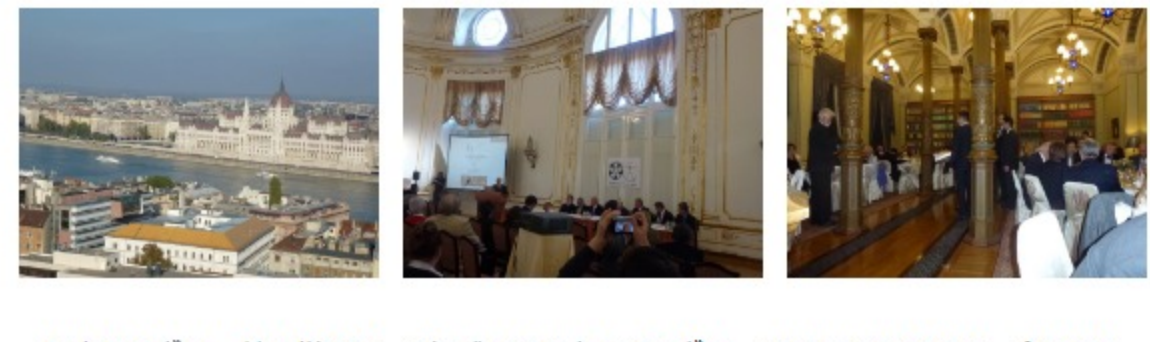
残念ながら、胃癌のセッションは少なく、大腸癌、乳癌を中心に情報収集をすることができました。選りすぐられた演題であり発表内容、プレゼンテーションの手法など勉強になりました。ポスターセッションも国際学会らしく非常に活気があり、このような場所で発表できる仕事をしたいと思いました。

3日目の夜には吉田教授ご夫妻と国立オペラ座でオペラ鑑賞をしました。題目はFidelioで3階のboxシートでした。簡単な解説書を読んであらずしは理解していましたが、慣れない雰囲気になんか緊張しました。約3時間の公演中はその迫りに圧倒され、素人でも引き込まれてしまう魅力はやはり本物の芸術のすごさだと感心させられました。



足の痛みがようやく軽快した5日目にウィーンからブダペストに移動しました。列車で3時間の移動でした。車窓の風景を楽しみながら、この旅行記を書きつつ翌日のプレゼンテーションの練習をしてブダペスト東駅に到着しました。旧東ドイツ領以外では生涯初の東欧入りとなりました。タクシーでホテルに向かう途中、「鎖橋」からのドナウ川の景観はまさに絶景で、ドナウの真珠と形容されるだけあって非常に印象に残りました。

その夜に同期の松橋先生と合流しました。ハンガリーは一般的に日本人にとっては馴染みの薄い国だと思われませんが、ハンガリーは人口当たりのノーベル賞受賞者数が世界一であり伝統的に科学が盛んな事、多くの日本人学生がハンガリーの大学で医学を学んでいる事など、知らない事が色々あり驚きました。



日本ハンガリー外科学会は、2年ごとに日本とハンガリーで交互に開催され、今回で5回目の開催であり、規模は小さいですが消化器、呼吸器、血管外科など多岐の分野にわたりレベルの高い演題が発表されました。日本での留学経験のあるハンガリー人が日本語で発表された事は驚きでした。私は、当科における腹腔鏡下噴門胃切除術の検討を発表させていただきました。



最終日はエクスカッションで、高級陶磁器として有名なヘレンドの工場見学、世界遺産のパンノンハルマ、そしてオーストリア国境近くのエステルハーゼ宮殿と早朝から深夜までバスでハンガリーの西半分を巡る小旅行でした。



ハンガリーの方はfriendlyでたいへん暖かいおもてなしを受けた事は忘れられない思い出となり、外科に携わる情熱は国を超えて共有できるのだとつくづく感じさせられました。今後は我々の世代がこの友好を受け継いで、ぜひ若い先生方にも参加していただきたいと思いました。

- ご案内
- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外来担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記
- 2022年
- 2021年
- 2020年
- 2019年
- 2018年
- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 2011年
- 2010年
- 2009年
- 2008年
- 2007年
- オプアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属 腫瘍
- 岐阜大学医学部附属 腫瘍がんセンター
- 岐阜大学医学部附属 腫瘍外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 第5回 学生セミナーを開催しました

第5回 学生セミナーを開催しました

投稿日：2012年9月28日 (金)

ご参加いただいた岐阜大学医学部の学生さんは
4年生が1名、5年生が15名、6年生が4名の合計20名でした。

セミナー概要

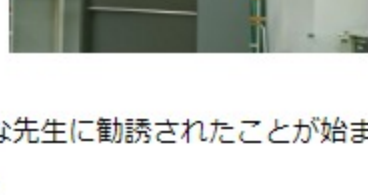
場所：岐阜大学医学部本館5階セミナー室
日時：平成24年9月28日(金) 19:00～20:30

プログラム

- 開会の辞 高橋孝夫 先生
- 19:00～19:20 講演 ～外科研修医の1週間～
岐阜市民病院 外科 安福 至 先生
- 19:30～20:30 特別講演 ～外科手術についての私見～
多治見市民病院 副院長 加藤 浩樹 先生

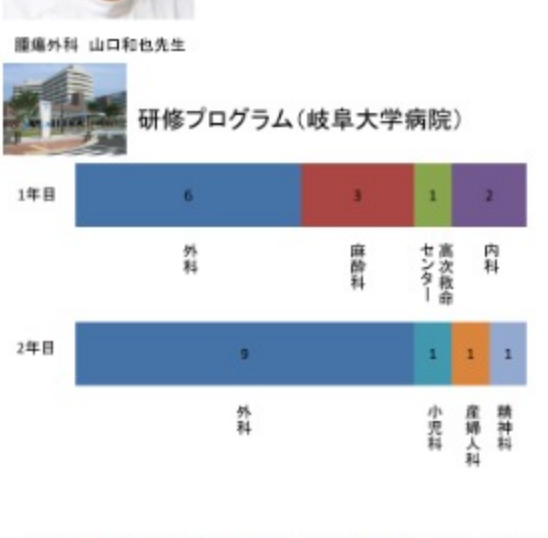
講演 「外科研修医の1週間」 岐阜市民病院 安福 至 先生

安福 至 先生 プロフィール
岐阜県関市洞戸(旧洞戸村)生まれ29歳
出身高校：岐阜東高校
出身大学：群馬大学 (H21卒業)



前期臨床研修は岐阜大学病院腫瘍外科にて、「熱心な先生に勤務されたことが始まりでした」と安福先生は自分の研修医生活を振り返る。

岐阜で初期研修をすることになったきっかけは・・・



外科の高度専門領域の医療に触れた大学病院での研修期間を経て、卒後3年目で岐阜大学腫瘍外科へ入局、現在は岐阜市民病院にて勤務中である。岐阜市民病院では、大学病院で経験したゆとりのある医療とはまた異なり、待機手術以外の緊急手術がとてども多く4月から9月までの間に担当した緊急手術は18件であったが、上級スタッフ、外科ローテーションの研修医たちと協力し、治療にあたっていると語った。

岐阜市民病院での仕事の様子

週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	カンファレンス 手術 外来	手術	手術	手術	手術
午後	手術 外来	手術	手術 カンファレンス	手術	カンファレンス

執刀経験症例 4月1日～9月14日

- 胃切除術 6例 合計57例
大腸・直腸切除術 6例
腹腔鏡下直腸切除術 1例
腹腔鏡下胆嚢摘出術 12例
開腹胆嚢 2例
虫垂切除術 11例
単孔式腹腔鏡下虫垂切除術 1例
絞扼性イレウス 3例
癒着性イレウス 1例
腹腔鏡下尿管管切除術 1例
消化管穿孔 2例 ※外科専門医試験受験資格
腹腔炎手術 1例 5年間の修練期間
人工肛門造設 1例 執刀経験120例
人工肛門閉鎖 1例
- 緊急手術 18例
腹腔鏡下手術 15例

また外科ローテーション中の研修医の先生たちが実際どのような研修をしているのかについて紹介し、集まった学生さんたちに外科研修の面白さをアピールした。

岐阜市民病院の研修医1年目の修練内容 同2年目

- 糸結び・縫合の練習
- 実際の手術・救急外来で糸結びと縫合の実践
- 助手として手術に参加(戦力の一員として)
- やる気があれば虫垂切除術・嚢径ヘルニア手術などの執刀まで
- 虫垂切除術・嚢径ヘルニア手術・腹腔鏡下胆嚢摘出術などの執刀
- 主治医として入院～手術～退院まですべてに携わります



特別講演 「外科手術についての私見」手術が上手くなるために必要なこと 多治見市民病院 加藤浩樹 先生

外科医って?消化器外科手術って?

20数年間外科医をやってみて考えてみました...

「手が器用」

★服のボタンをかうことができる。 → これができれば大丈夫。

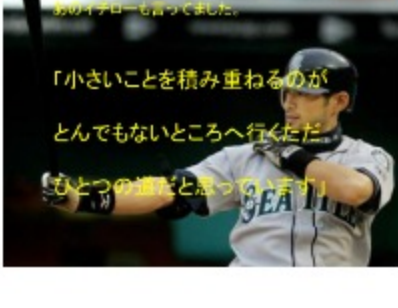
★★箸を使ってご飯が食べられる。 → 十分です。

★★★箸でグリーンピースをつまめる人。 → もう完璧です!!!

「センスが必要」 そもそも外科のセンスって何?外科のセンスなつものがあるとすれば、思考、姿勢です。外科手術は大部分頭でします。

では実際にはどういっヒトであれば、手術が上達するのか?私が医師8～9年目の頃、専門病院研修中で出会った消化器外科手術の達人外科医をみて思っていました...。「手技の反省、改善点の考察、その実践」意識的、無意識化は別として繰り返す中で上達したと思うんです。

高難易度手術...たとえば食道癌根治術、脾臓十二指腸切除術...と言われる手術であっても、結局は1つ1つの基本的な手技の積み重ねで手術が成立する!



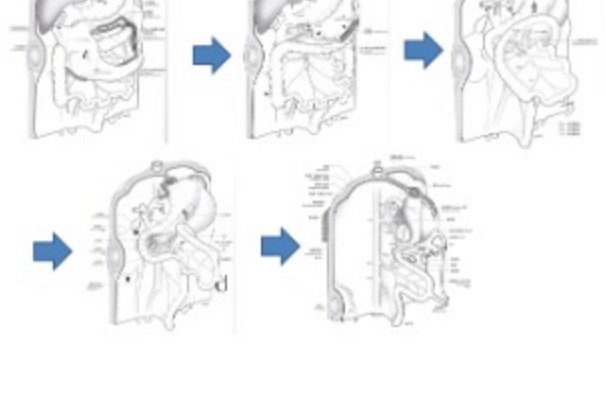
私が思う頭でする手術

術前の情報収集から手術のイメージを十分にしておく(手順だけでなく、解剖学的な所見について)、起こりうる事態とその対処を想定しておく(危機管理能力!)、実際の術野に見えている解剖だけでなくそれが繋がっていく血管や層の連続性を理解・意識する。そのためには、実際の術野よりかなり大きな範囲で解剖を意識して手術を進める。血管を例にとればAortaからの連続でイメージする。

発生から理解する解剖のよさ

「木を見て森を見ずの逆」であり、「森をイメージしながら木を切る」手術によって、★手術の安全度が高まる、★実際の手術での応用力がUPする、★拡大手術ほどその威力を発揮するといえます。大きく臓器を切除する必要が発生した時ほど、むしろ手術時間は短縮され、出血は軽減し、合併症は減少します。つまり手術の質の向上につながります。

逆再生の手術



「イラストレイテッド外科手術 腹の解剖からみた術式のポイント 第3版」より引用

これからの外科手術について

- 手術の低侵襲化
- 基本的にハイテク化は進みます...具体的にいえば、鏡視下手術、ロボット手術(ダ・ヴィンチなど)
- どんなに医学が進歩しても、どんなに医療機器がハイテク化しても、進化のスピードから言って当分人間の解剖は変わりません。
- 根本的に手術の理屈は変わりません。
- 頭で行う手術を行ってはいれば何も困りません。
- 新しいことに挑戦する必要があるかもしれませんが「胆胸」が必要なだけです。

外科医が必要とされています

麻酔科医不足、婦人科医不足、小児科医不足...と言われて久しいですが...

実は外科医も不足しています!

- これから、我が国は世界でも経験のない高齢化社会に突入していきます。
- 外科医の手を必要とする癌の患者さんは確実に増加していきます。
- 高齢者の増加に伴って、急性疾患の手術症例も増加していきます。

外科医が必要とされています。お国のために頑張りましょう。

懇親会の様子

講演が終了後、会場をCOAへ移し懇親会を行いました。

懇親会には関連病院の先生に多数のご参加をいただき、学生さんたちと交流していただきました。特に5年生の学生さんたちはこれから院外実習が控えていることもあって、各病院の様子など真剣な様子で尋ねていたのが印象的でした。また将来の志望科についての相談や、女性に限らず男性の学生さんたちの中にも、仕事とプライベートのlife work バランスを考え、重視していることが話しているうちに分かり、とても興味深かったです。

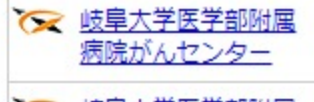
学生さんと医局の先生がたの多数のご参加をいただき、本当にありがとうございました。





ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 医局懇親会 バーベキューを行いました

医局懇親会 バーベキューを行いました

投稿日：2012年9月15日（土）

恒例となっていた医局旅行にかわり、今年は医局懇親会としてバーベキューを行いました。
たくさんの方々に参加いただき、会はとても盛況でした。
参加いただいた皆さま、ありがとうございました！！



日時：平成24年9月15日（土）

場所：ノーブルおぶさ



中国から留学中のファン先生（左）と



吉田教授の乾杯、とても楽しそうです♪



研修医の先生の参加もありました



木沢記念病院研修医の久野先生と



佐々木先生、田中先生、浅井先生（救急から10月に外科へ戻ります）、加納先生と



中国からの研究生スチンさんと（右から2番目）、吉田教授、二村先生、山口先生、ファン先生と



幹事の今井先生、八幡先生お疲れ様でした！



病棟看護師さんと



英会話のダスティン先生と



教授のお隣は、大学病院研修医の小野先生です



高橋先生のご挨拶で会はお開きとなり ...



2次会は夜更けまで続けました♪

皆様ありがとうございました！



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- ▶ [岐阜大学医学部](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

教室日記

トップページ > 教室日記 > 第8回 岐阜手術手技研究会

第8回 岐阜手術手技研究会

投稿日：2012年7月20日（金）

第8回 岐阜手術手技研究会 を開催しました

【日時】 平成24年7月20日（金） 19:00 - 21:00
【会場】 岐阜大学医学部棟 1階 大会議室
【座長】 岐阜大学腫瘍外科教授 吉田 和弘 先生

共催 岐阜手術手技研究会 コヴィディエンジャパン株式会社
後援 岐阜大学附属病院がんセンター

【特別講演】

「消化器がんにおける Robotic surgery の最前線」

藤田保健衛生大学医学部 上部消化管外科講座 教授 宇山 一朗 先生

「Up to date of the gastric cancer treatment」

延世大学 医科大学 外科学教室 主任教授 盧 聖勳 先生

藤田保健衛生大学 医学部 上部消化管外科 教授 宇山 一朗 先生 延世大学 医科大学 外科学教室 主任教授 盧 聖勳 先生



大変暑い中、研究会当日は多くの参加者の方々にお集まりいただきました。特別講演でご講演いただきました宇山先生、韓国よりお越しくくださった盧先生、そして参加いただいた皆様がた、関係各位の皆様がたに、深く御礼申し上げます。



ご講演後の質疑応答では、活発に議論がなされました。



研究会終了後、宇山先生と盧先生と一緒に、記念写真を撮りました。皆さま、お疲れ様でした！



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 斎藤先生の送別会を行いました。

斎藤先生の送別会を行いました。

投稿日：2012年6月19日（火）

斎藤先生の送別会を行いました
平成24年6月19日（火） 20時～ 牛もつ鍋 おく田にて
天候は台風



斎藤 史朗 先生 （転勤先）木沢記念病院



上部消化管チームを支えられた斎藤先生へ、教授をはじめ多くの先生方よりねぎらいのお言葉を頂きました。
多くの若手の先生からは、病棟でも医局でも、困ったときにはいつも頼りにさせていただいたという感謝の声があがりました。



楽しい語らいの中、送別会はたいへん盛り上がりました。



斎藤先生、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。



▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > ACOS 2012 アジア臨床腫瘍学会レポート

ACOS 2012 アジア臨床腫瘍学会レポート

投稿日：2012年6月13日 (水)

2012年6月に開催されたアジア臨床腫瘍学会には多くの先生が参加しました。
高橋 孝夫 先生（准教授）よりレポートをお届けします。

ACOS 2012 - 10th International Conference of Asian Clinical Oncology Society -

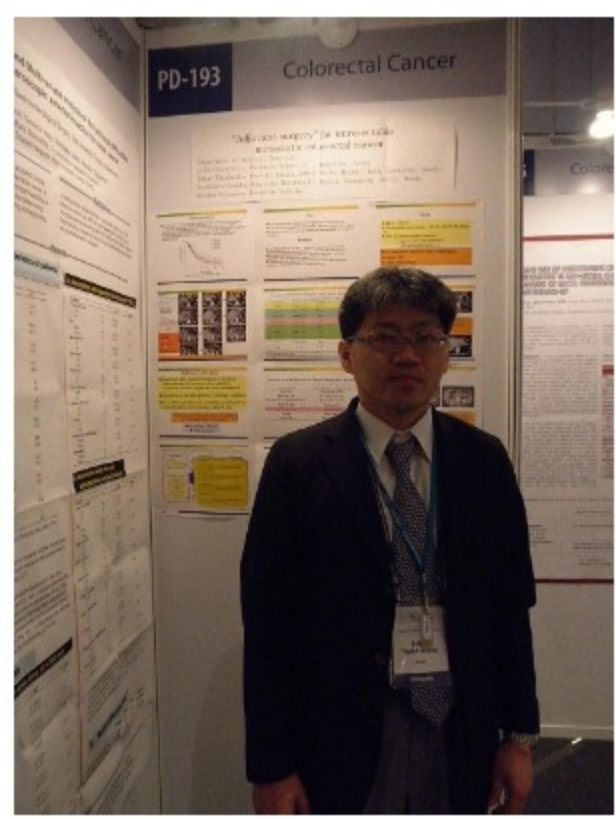
June 13 - 15, 2012
COEX Korea Exhibition Center
Seoul, Korea, South



ACOS会場にて学会初日
三沢市立三沢病院の坂田優先生と一緒に、吉田教授と医局員、そして秘書さん

2012年6月13日～6月15日まで韓国・ソウルで開催されましたACOS 2012に参加しました。前回の2010年には佐治名誉教授が岐阜で会長として開催され、当科で事務局を務めさせていただいた学会です。今回は当科から吉田教授、二村先生、奥村先生と私、そして秘書の平田さん、岩田さんと森さんで参加しました。

当科からは8題の演題を発表しました。この学会では、アジアでの日本の立ち位置が理解され、今後アジア内で臨床試験などにおいてcommunicationが必要であると強く感じました。また韓国は頑張っているなという印象でした。日本からも多くの発表がありましたし、韓国の先生方と交流を持つ機会もありました。



発表ポスターの前で
「切除不能大腸癌に対する Adjuvant Surgery」について発表しました。

また佐治重豊名誉教授がACOS理事長であるため、学会中のbusiness meetingのお手伝いの必要があり、秘書さん達も参加することとなりました。このmeetingはACOSの2日目に行われましたが、佐治名誉教授、吉田教授の司会により、滞りなく終了いたしました。秘書さん達は日本での準備段階から英語での資料作成や、議事録作成に尽力していただき、たいへん助かったとのことでした。

韓国への海外出張は渡航時間が短く、現地での食事は日本人にも合いますし、市街地では日本語が飛び交っており、滞在するにあたって快適でした。

韓国の若い先生方の英語力が高いこと、アジア内での交流が活発なことに、たいへん刺激を受けて帰国しました。日本は韓国や中国に負けないよう頑張らないといけないと感じ、更に勉強して語学力を向上させたいとモチベーションが高まっています。



景福宮の前で二村先生と
学会の空いた時間に、李王朝時代の王宮を見てきました。



Banquetの様子
韓国流の催し物を拝見し、食事を皆さんと共にすることで交流を広め、楽しいひと時を過ごさせていただきました。

▼ **ご案内**

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

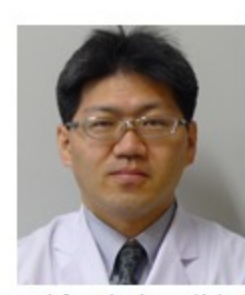
トップページ > 教室日記 > ASCO 2012 米国臨床腫瘍学会レポート

ASCO 2012 米国臨床腫瘍学会レポート

投稿日：2012年6月 1日 (金)



2012年6月1日～6月5日までUSA・シカゴで開催されましたASCO 2012（米国臨床腫瘍学会）に当科から吉田教授と私で参加しました。私はASCOへの参加は3年ぶり2回目でしたが、前回同様、surgical oncologistとしてエビデンスを塗り替えるような発表を生で聴きたい、見たいという希望が叶い、たいへん感謝しております。



高橋 孝夫 准教授

さて今回の発表内容ですが、Gastrointestinal Cancer、特にColorectalの分野に興味があるトピックスがありましたので、これらを中心に聴きました。いくつか、注目した演題を御紹介します。

#CRA3503

一次治療においてペバシツマブ併用療法を施行した切除不能進行・再発大腸癌に対する初回増悪後のペバシツマブ継続投与の有用性：第Ⅲ相ランダム化試験 (ML1847試験)

ペバシツマブを含む一次治療増悪後においても、二次治療でペバシツマブを継続投与することにより主要評価項目である全生存期間を有意に延長することが認められたと報告され、今後の切除不能進行・再発大腸癌に対する一次治療、二次治療におけるBBPが前向きに検証され、ペバシツマブの使用法に注目しています。

#3508

切除可能な肝転移を有する大腸癌患者への術前FOLFOX4療法：EORTC 40983試験による長期戦の結果 -無作為多施設共同第Ⅲ相試験

この試験のprimary endpointであったPFSが術前FOLFOX4療法で有意に改善したことは以前報告されましたが、今回副次的評価項目である長期follow upした生存期間において有意な改善は示されなかったと報告され、術前NACが有用なのか、どうか疑問が残る結果でした。

#3502

切除不能進行・再発大腸癌におけるregorafenibの第Ⅲ相試験：CORRECT試験

経口マルチキナーゼ阻害剤であるregorafenibが標準治療抵抗性を示すようになった切除不能進行・再発大腸癌に対し、プラセボ群と比較し、OS、PFSにおいて有意に改善したと報告されました。切除不能進行・再発大腸癌に対する標準治療に抵抗性を示した後に、使用可能な新薬が登場したことに対して期待しています。

岐阜大学腫瘍外科 臨床准教授

高橋 孝夫



ASCO会場(McCormic Place)内のメイン通路での吉田教授との写真：

広い会場内を迷わずセッション会場に行くのが大変でした。

▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 歓迎会を行いました。

歓迎会を行いました。

投稿日：2012年4月24日（火）

4月24日に8階西病棟と腫瘍外科の歓迎会を行いました。

19時半～ 後藤屋



新しく赴任された先生（前赴任先）

- 奥村 直樹 先生（韓国延世大学）
- 長瀬 通隆 先生（自治医科大学附属病院）
- 福田 賢也 先生（下呂市立金山病院）
- 兼松 昌子 先生（岐阜県総合医療センター）
- 館 正仁 先生（岐阜県総合医療センター）
- 加納 寛悠 先生（岐阜市民病院）



奥村 直樹 先生



長瀬 通隆 先生



福田 賢也 先生



兼松 昌子 先生



加納 寛悠 先生 館 正仁 先生
病棟の新人看護師さん

吉田教授からは、新しい先生がた・看護師さんがたの活躍を願い、皆で新しい1年を頑張りましょうとご挨拶をいただきました。



吉田教授



二村先生



新しい年度が始まり、親交を深めることができました。本年度もよろしくお祈いします。



司会の棚橋先生、幹事の皆様、お疲れ様でした！



ご案内

トップページ

教授挨拶

教室紹介

診療内容

外来担当表

セカンドオピニオン

研究課題

臨床試験

業績

研修・入局案内

関連病院紹介

スタッフ紹介

教室日記

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

2008年

2007年

オプアウト対象の臨床研究

寄付講座

同門会



同門会発行
辛夷

胃がんとは
MOVIE

外来化学療法
って何？

術後GISTの
化学療法

ASCO2013
~Late Breaking Abstracts~

ASCO2015
~special session :
Global Oncology Symposium~

岐阜大学医学部

岐阜大学医学部附属
病院

岐阜大学医学部附属
病院がんセンター

岐阜大学医学部附属
病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 歓送迎会を行いました。

歓送迎会を行いました。

投稿日：2012年2月 6日（月）

2月6日に歓送迎会を行いました。

場所：おく田

時間：19時半～

歓迎者：安福先生（揖斐厚生病院から）
松橋先生（岐阜県総合医療センターから）

送別者：山本さん、安齋さん（西8階→西5階へ）



（左）松橋先生、（右）安福先生からご挨拶いただきました。
これからよろしくお願いいたします。



安齋さん、山本さん、今までありがとうございました。
西5階に行ってもがんばってください。



今年もよろしくお願いいたします。



ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)

▼ 教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > [医局説明会を開催しました。](#)

医局説明会を開催しました。

投稿日：2012年1月27日（金）

1月27日に医局説明会を開催しました。

日時：1月27日 19時30分～
場所：牛もつ鍋『おく田』
対象：研修医1年目



各施設の先生方にもたくさん集まっていたけました。

たくさんの研修医の先生方にご参加いただきました。



実際の研修を始めてみて、これからどうしていくのか、外科とはどのようなことをしているのかなど、具体的なお話ができました。

今後も、このような交流の場を設けて行きたいと考えておりますので、ふるってご参加ください。

[▲ページの先頭へ戻る](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**



教室日記

トップページ > 教室日記 > 学生セミナーを開催しました。

学生セミナーを開催しました。

投稿日：2012年1月13日(金)

1月13日に学生セミナーを開催しました。

日時：2012年1月13日
19：00～
場所：医学部棟3階 多目的室
対象：4, 5年生

食事会：20：00～ COA

2人の先生方にご講演いただきました。



山田 敦子先生 (平成16年卒)
岐阜大学医学部 大学院生

『これまでの外科研修をふりかえって』
をテーマにお話しいただきました。

ポリクリを回っている学生さんたちへ

☆初心をわすれずに・・・
興味ももてることなら続けられるし頑張れる！

☆学生と研修医では見える世界が違う
ローテイトすればするほど迷ってしまう

☆最初から可能性を狭めない 思い込まない
仕事もプライベートも 息抜きも大事
やるときはしっかりやる めりはりつける

一緒に岐阜の医療・外科をささえていきませんか？
待ってます！！



長尾 育子先生

岐阜県総合医療センター
乳腺外科部長

『医師としてのQOLを考えよう！』
をテーマにお話しいただきました。

現在岐阜県総合医療センターに勤務する若手女性医師8人の意見

所属する科を選ぶとき考えること

- | | |
|------------------------------------|----|
| 1、 興味がある、向いている、やりたい、という自分の気持ちが第1 | 2人 |
| 2、 結婚、出産しても続けて行ける科を選びたい | 0人 |
| 3、 1、2、両方を考えるが、どちらかと言うと2を優先せざるを得ない | 6人 |

早く一人前になれる科

緊急が少ない科

結婚、出産後も仕事を続けたいですか？(複数回答可)

- | | |
|------------------|----|
| 1、 続けたい | 8人 |
| 2、 結婚したら仕事を減らしたい | 0人 |
| 3、 出産したら仕事を減らしたい | 7人 |

24時間の保育所があってもそれをフルに利用して働くのは無理。
自分の仕事にめりはりをつけて子供と過ごす時間をとりたい

以上のことがわかります。しかし...

自分が一番興味のある分野を見つけ出し、
それを専門科として選択する。

それこそが、長く仕事を継続し、
家庭・育児との両立をなしえることに
つながります。



女性の立場から、大変重みのあるご講演をいただきました。

講演のあとは、みんなで意見交換会...しながらの食事会を
行いました。



ざっくばらんに色々な話が出来たのではないのでしょうか。

私たちは年に2回、このような会を設けております。
積極的に、ご参加いただき、色々な質問をぶつけてみてください。

そして、今後の岐阜の医療・外科を担う人たちのお手伝いが
できればと思います。